



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

December 2009

ご挨拶



会長
井 汲 憲 治

35周年記念事業を振り返って

先生方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

インプラントは現在歯科治療において重要な位置にあります。今から20年以上前の評価と比較した時、隔世の感があります。これはインプラントの重要性を認識し、インプラント治療を審美的にも機能的にも他科の批判に耐えうるものにしてきた、インプラント臨床家の熱意と努力の結果であったとも思います。

本会はインプラント臨床医の集りとして、今年35周年を迎えました。7月には東京ミッドタウンで記念事業の全員発表研修会、アジア口腔インプラント学会、記念祝賀会を成功裏に開催することができました。その際、国内外から多くの先生をお招きできたのも、諸先輩の先生方の各方面へのお付き合い、そして全会員の先生方がよりよいインプラント臨床をめざして真剣に取り組んでいる成果であったと思います。参加された先生方、ほんとうにお疲れ様でした。

今年の全員発表研修会は特別に公開としましたが、ご招待した先生からも、自身の施設でも同様の研修会をおこなってみたいとのお声をいただいております。

一方、本年度、我々の会の専門医数は全国の研修施設の中でトップとなりました。これも、会の活動が活発である成果であり、大変誇らしいことだと思います。

新たに加入された先生も専門医を目指して頑張ってください。本会の毎年の研修会で発表し臨床の質を高めることは、専門医への最短コースであるといっても過言ではありません。

来年度も、魅力的な研修会が目白押しであります。会員の先生方のご協力、ご参加をお願いいたします。そして、来る年において先生方の益々のご健康とご活躍を祈念申し上げます。